

北海道及び檜山振興局管内の一般廃棄物の現況

一般廃棄物(し尿を除く)処理の現況

一般廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、市町村が処理計画を策定し適正に処理をすることとされています。この計画を「一般廃棄物処理計画」といいます。

檜山振興局管内では、南部檜山衛生処理組合(江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、八雲町熊石)、北部檜山衛生センター組合(せたな町、今金町)、奥尻町がそれぞれ処理計画を作成し、一般廃棄物の収集、運搬、処分を行っています。

令和3年度の檜山振興局管内のごみの総排出量は1万3093トンです。令和3年度の各町別の排出量は【表1】のとおりです。

令和3年度の檜山振興局管内のごみの総排出量を、一人一日当たりの排出量に換算すると1059グラムとなり、令和2年度の1,055グラムとほぼ同量です。また、【表2】のとおり全道平均の941グラム及び全国平均の890グラムよりも大きい値となっています。檜山振興局管内のリサイクル率は5.0%となり、全道平均の23.5%、及び全国平均の19.9%と比較すると大幅に低く、道内(総合)振興局のなかで最も低い値となっています。特に南部檜山地域についてはその傾向が顕著です。

豊かな北海道の自然環境を守り、後世へと残していくためには環境問題への取組は必要不可欠であり、そのなかでも廃棄物の減量化やリサイクルは最終処分場の確保や資源有効利用の面からも非常に重要です。また、われわれの生活で最も身近な環境への取組の一つであるため、住民の環境意識・行動や環境教育といった側面からも重要です。そのため管内の町及び一部事務組合においては市町村等の責務として住民と協力して発生抑制や減量化、リサイクルの推進が強く求められ、その仕組みづくりが急務となっています。

排出量の推移については、【図1】及び【図2】のとおりです。

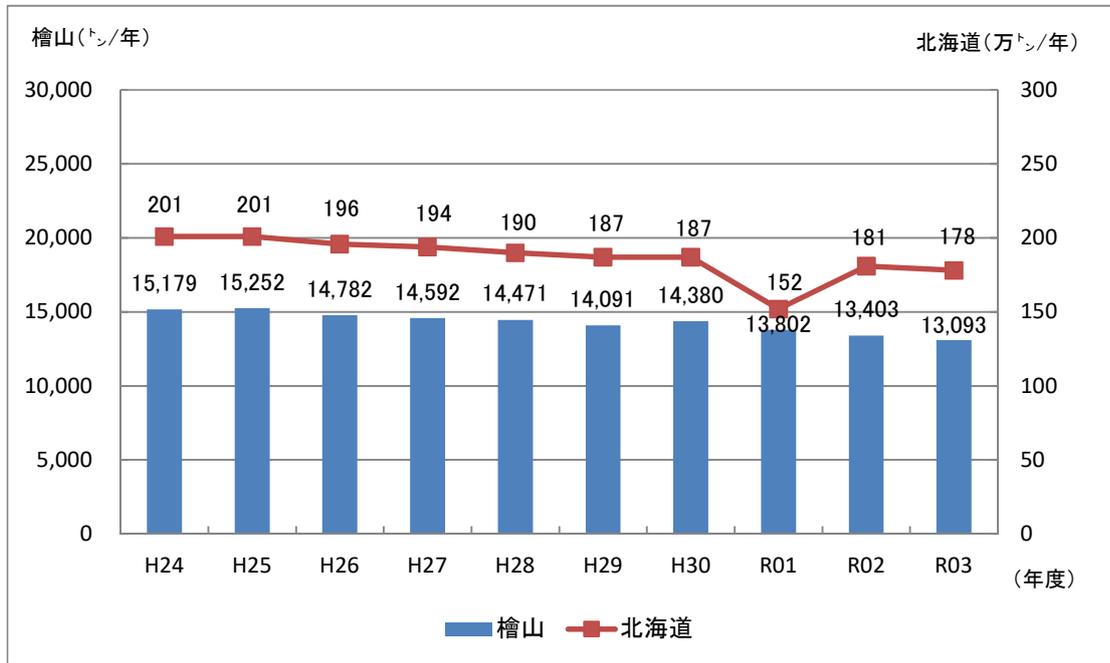
【表1】令和3年度の檜山振興局管内のごみの排出状況

	人口(人)	生活系ごみ(トン)	事業系ごみ(トン)	集団回収量(トン)	合計(トン)
江差町	7,171	1,520	1,128	32	2,680
上ノ国町	4,501	1,075	265	0	1,340
厚沢部町	3,632	862	390	0	1,252
乙部町	3,449	878	251	0	1,129
奥尻町	2,443	946	206	0	1,152
今金町	4,957	936	1,095	0	2,031
せたな町	7,298	1,449	1,832	228	3,509
管内計	33,451	7,666	5,167	260	13,093

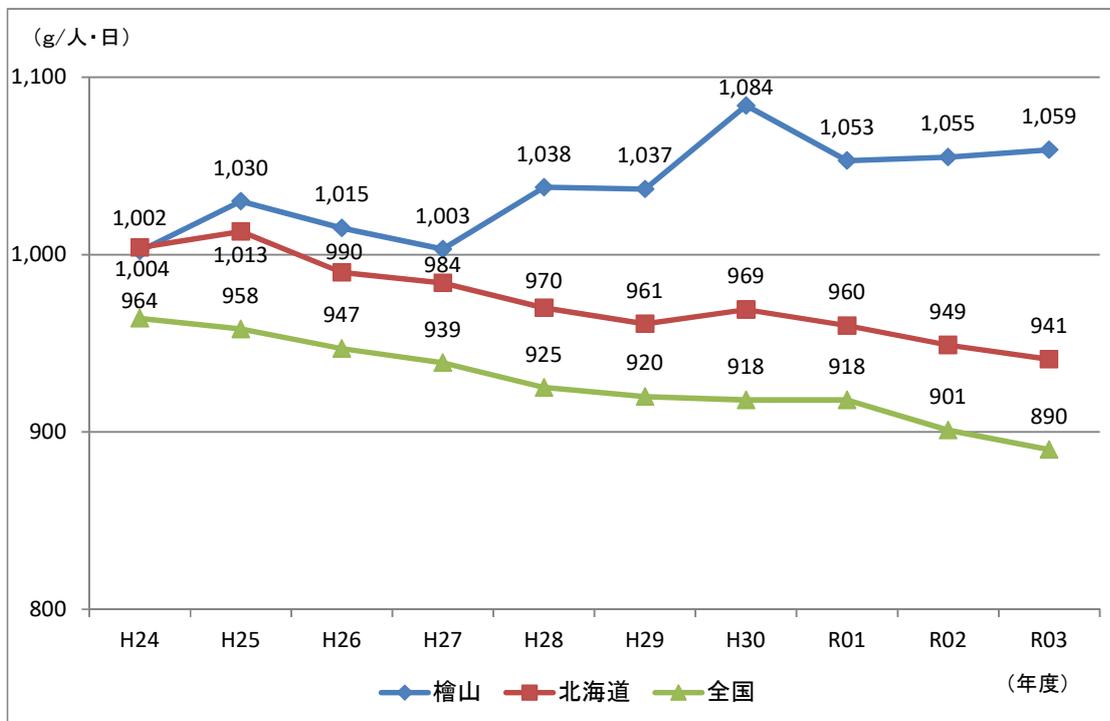
【表2】檜山振興局管内のごみの排出量と全道・全国の比較(令和3年度)

	檜山振興局	北海道	全国
人口	33,451人	519万人	1億2550万人
総排出量	13,093トン	178万トン	4,095万トン
一人一日当たりの排出量	1,059グラム	941グラム	890グラム
リサイクル率	5.0%	23.5%	19.9%

【図1】ごみ排出量の推移



【図2】一人一日当たりごみ排出量の推移



し尿処理の現況

檜山振興局管内におけるし尿の処理は、ごみと同様に各一部事務組合・町により収集、運搬、処分が行われています。自家処理されたし尿を除き、収集されたし尿や浄化槽汚泥は、すべて一部事務組合・町が設置するし尿処理施設で処理されます。

令和3年度の各町のし尿処理状況【表3】のとおりです。

檜山振興局管内の水洗化率については、全道及び全国平均を大きく下回っています。

令和3年度末の水洗化率は【表4】のとおりです。

【表3】檜山管内のし尿排出状況

	人口(人)	し尿(キロリットル)	浄化槽汚泥(キロリットル)	自家処理量(キロリットル)	合計
江差町	7,171	6,119	1,704	0	7,823
上ノ国町	4,501	2,604	306	0	2,910
厚沢部町	3,632	952	791	0	1,743
乙部町	3,449	1,096	144	0	1,240
奥尻町	2,443	639	264	0	903
今金町	4,957	969	591	0	1,560
せたな町	7,298	2,978	619	1	3,598
管内計	33,451	19,776	4,419	1	19,777

【表4】令和3年度末水洗化率

区分	水洗化率		
	下水道	コミュニティプラント	浄化槽
檜山	70.4%	41.3%	23.3%
北海道	94.6%	89.9%	4.0%
全国	95.9%		

※水洗化率とは、公共下水道処理人口の他にコミュニティプラント(農業集落排水等)による処理人口や浄化槽による処理人口を足した値を、行政人口で除した値です。

一般廃棄物処理施設の現況

檜山振興局管内の一般廃棄物処理施設の設置状況は【表5】のとおりです。各一部事務組合・町それぞれがごみ焼却施設、最終処分場を設置しています。し尿処理施設は、南部檜山衛生処理組合が設置しているほか、奥尻町・せたな町・今金町では下水道にし尿を受け入れて処理を行っています。また、北部檜山衛生センター組合はリサイクルセンターを設置しています。

このほか、一部の民間企業では、流木、間伐材等の処理を目的とした破碎施設や、最終処分場を設置しています。

【表5】一般廃棄物処理施設の現況(令和5年4月現在)

設置区分	設置者	所在地	処理能力・埋立地面積
ごみ焼却施設	南部檜山衛生処理組合	江差町	44トン/日×2
	北部檜山衛生センター組合	せたな町	25トン/日×2
	奥尻町	奥尻町	8トン/日×2
最終処分場	南部檜山衛生処理組合	江差町	29,000㎡
	北部檜山衛生センター組合	せたな町	12,900㎡
	奥尻町	奥尻町	3,128㎡
リサイクルセンター	北部檜山衛生センター組合	せたな町	3トン/日
し尿処理施設	南部檜山衛生処理組合	厚沢部町	80キロリットル/日
粗大ごみ処理施設	南部檜山衛生処理組合	江差町	13トン/日
	北部檜山衛生センター組合	せたな町	35トン/日

↓のホームページから

出典

令和3年度一般廃棄物処理事業実態調査(環境省ホームページより)

https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/r3/index.html